

仕様書番号：E7-20

作成年月日：令和7年 4月 1日

# ボイラー洗缶等整備役務

システム通信・サイバー学校

# 仕 様 書

- 1 件 名：ボイラー洗缶等整備役務  
 2 場 所：神奈川県横須賀市久比里 2-1-1 陸上自衛隊久里浜駐屯地  
 3 概 要

時 期	実 施 内 容
上 期 (5月実施)	ボイラー本体（水室内部のみ）の洗缶整備作業×1基 ボイラー本体の安全弁分解整備及び吹出し試験×2個 熱交換器の安全弁分解整備及び吹出し試験×2個 貯湯槽の安全弁分解整備及び吹出し試験×4個
下 期 (10月実施)	ボイラー本体の洗缶整備作業×1基 ボイラー本体の安全弁分解整備及び吹出し試験×2個 熱交換器の安全弁分解整備及び吹出し試験×2個 貯湯槽の安全弁分解整備及び吹出し試験×3個

4 適用範囲：本仕様書は、陸上自衛隊久里浜駐屯地で実施する「ボイラー洗缶等整備役務」に適用する。

5 一般事項

- (1) 本件を実施するにあたっては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」及び本仕様書に基づき実施する。
- (2) 洗缶等整備とは、法令<sup>※1</sup>で定められた性能検査を受検するため事前に準備を行う整備をいう。  
 ※1 「ボイラー及び圧力容器安全規則」（労働省令第五条）第三十八条及び第四十条
- (3) 本仕様書内容または作業中に疑義が生じた場合、監督官に確認・調整し、指示を受ける。
- (4) 本件の実施に際し、既存施設等に損傷を与えぬよう十分注意して作業を行うこと。また、万一損傷を与えた場合は請負者の責任において現状復旧すること。
- (5) 本件の実施に際して、本仕様書に明記の無い事項であっても、技術的に当然実施すべき事項は請負者の責任において実施する。
- (6) 作業時間は原則として、平日の午前9時00分から16時45分（作業準備として作業時間の30分前に現場入りは可。また撤収作業として15分の延長は可。）までとする。なお、土、日、祝休日及び時間外の作業を行う際は、速やかに監督官と協議すること。
- (7) 本件の実施責任者は、作業内容を理解できる技術・技能を有する者が行い、事前に官側に資格書を提示し、確認を受けること。
- (8) 本件を実施するにあたり、請負者は関係法令等を遵守し、円滑な進捗を図り、安全確保を全てに優先させ災害等の発生防止に努める。
- (9) 写真は実施前、実施中及び実施後を撮影し、整理したのち監督官へ提出する。

件 名	ボイラー洗缶等整備役務
図 名	仕 様 書 (1)
陸上自衛隊システム通信・サイバー学校総務部管理課	

## 6 特記事項

## (1) ボイラー(1号ボイラー、2号ボイラー共同)の諸元

場 所	諸 元
ボイラー室	種類：炉筒煙管式ボイラー 型式：日本サーモエナー（株）製 RE-70FII 伝熱面積：92.9 m <sup>2</sup> 最高使用圧力：1 MPa 実際蒸発量：7,000 kg/h 点火方式：LPGパイロットバーナー着火方式

## (2) 熱交換器の諸元

場 所	諸 元
90号館	種類：熱交換器 形式：横型円筒形多管式第一種圧力容器 最高使用圧力：被加熱側 0.49 MPa 熱源側 0.49 MPa 内容積：被加熱物側 0.04 m <sup>3</sup> 熱源側 0.07 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし管）形式（揚程式）弁径（32A）× 1個（被加熱側） （ばね安全弁）形式（揚程式）弁径（50A）× 1個（熱源側） 水圧試験圧力：被加熱側 0.735 MPa ：熱源側 0.735 MPa
105号館	種類：熱交換器 形式：横型円筒形多管式第一種圧力容器 最高使用圧力：被加熱側 5.0 kg/cm <sup>2</sup> 熱源側 5.0 kg/cm <sup>2</sup> 内容積：被加熱側 0.075 m <sup>3</sup> 熱源側 0.13 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし弁）弁径（40A）× 1個（被加熱側） 種類（ばね安全弁）弁径（25A）× 1個（熱源側） 水圧試験圧力：7.5 kg/cm <sup>2</sup> （熱源側） ：7.5 kg/cm <sup>2</sup> （熱源側）

件 名	ボイラー洗缶等整備役務
図 名	仕 様 書 (2)
陸上自衛隊システム通信・サイバー学校総務部管理課	

## (3) 貯湯槽の諸元

場 所	諸 元
7号館	種類：ストレージタンク 形式：堅型円筒型多管式 最高使用圧力：被加熱側 0.49 MPa 熱源側 0.49 MPa 内容積：被加熱側 2.22 m <sup>3</sup> 熱源側 0.018 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし弁）型式（揚程式）弁径（32A）× 1個 水圧試験圧力：被加熱側 0.805 MPa 熱源側 0.735 MPa
8号館	種類：ストレージタンク 形式：円筒型 最高使用圧力：温水側 0.49 MPa 蒸気側 0.49 MPa 内容積：温水側 0.882 m <sup>3</sup> 蒸気側 0.018 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし弁）型式（揚程式）弁径（25A）× 1個 水圧試験圧力：0.805 MPa（温水側） 0.735 MPa（蒸気側）
50号館	種類：ストレージタンク（コイル入） 形式：立型（円筒形） 最高使用圧力：被加熱側 6.0 kg/cm <sup>2</sup> （水頭圧60m） ：熱源側 10.0 kg/cm <sup>2</sup> 内容積：被加熱側 0.899 m <sup>3</sup> 熱源側 0.030 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし弁）型式（揚程式）弁径（32A）× 1個（被加熱物側） 水圧試験圧力：被加熱側 9.0 kg/cm <sup>2</sup> 熱源側 15.0 kg/cm <sup>2</sup>
90号館	種類：ストレージタンク 形式：円筒型 最高使用圧力：温水側 0.49 MPa 蒸気側 0.49 MPa 内容積：温水側 0.882 m <sup>3</sup> 蒸気側 0.019 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし管）型式（揚程式）弁径（32A）× 1個 水圧試験圧力：0.805 MPa（温水側） 0.735 MPa（蒸気側）

件名	ボイラー洗缶等整備役務
図名	仕様書（3）
陸上自衛隊システム通信・サイバー学校総務部管理課	

場 所	諸 元
103号館	種類：液体加熱器（貯湯槽） 形式：堅型円筒多管式 最高使用圧力：被加熱側 5.0 kg/cm <sup>2</sup> : 熱源側 5.0 kg/cm <sup>2</sup> 内容積：被加熱側 0.612 m <sup>3</sup> 熱源側 0.016 m <sup>3</sup> 安全弁：種類 逃がし弁型 25A × 1個 水圧試験圧力：被加熱側 7.5 kg/cm <sup>2</sup> 熱源側 7.5 kg/cm <sup>2</sup>
105号館	種類：ストレージタンク 形式：立型円筒形多管式 最高使用圧力：被加熱側 5.0 kg/cm <sup>2</sup> : 熱源側 5.0 kg/cm <sup>2</sup> 内容積：被加熱側 3.24 m <sup>3</sup> 熱源側 0.05 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし弁）型式（揚程式）弁径（40A） × 1個 水圧試験圧力：被加熱側 7.5 kg/cm <sup>2</sup> 熱源側 7.5 kg/cm <sup>2</sup>
108号館	種類：ストレージタンク 形式：円筒型 最高使用圧力：温水側 0.49 MPa 蒸気側 0.49 MPa 内容積：温水側 2.763 m <sup>3</sup> 蒸気側 0.040 m <sup>3</sup> 安全弁：種類（逃がし管）型式（揚程式）弁径（32A） × 1個 水圧試験圧力：0.805 MPa（温水側） 0.735 MPa（蒸気側）

## (4) 上期作業内容（5月実施）

ア ボイラー本体洗缶整備（水室内部のみ）、安全弁分解整備及び吹出し試験の実施

場 所	対 象 設 備	内 容
ボイラー室	2号ボイラー本体	ボイラー本体の洗缶整備 （水室内部のみ） ボイラー本体の安全弁 40A×1個 50A×1個

件 名	ボイラー洗缶等整備役務
図 名	仕 様 書 (4)
陸上自衛隊システム通信・サイバー学校総務部管理課	

場 所	対 象 設 備	内 容
8号館	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 25A×1個
50号館	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 32A×1個
90号館	熱交換器	熱交換器の安全弁 32A×1個 50A×1個
	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 32A×1個
103号館	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 25A×1個

イ 安全弁吹出し試験の設定圧力は、監督官が示す。

ウ 整備対象安全弁の取外し及び整備後の取付は、官側で実施する。

エ 2号ボイラー本体の洗缶整備

(ア) 水室内部整備（給水内管取外し整備含む）

オ ボイラー性能検査完了後、当該ボイラー製造メーカーによる2号ボイラー本体燃焼調整及び試運転を実施すること。

(5) 下期作業内容（10月実施）

ア ボイラー本体洗缶整備、安全弁分解整備及び吹出し試験の実施

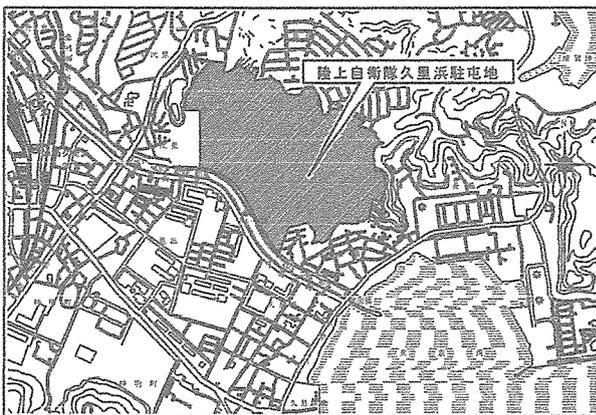
場 所	対 象 設 備	内 容
ボイラー室	1号ボイラー本体	ボイラー本体の洗缶整備 ボイラー本体の安全弁 40A×1個 50A×1個
7号館	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 32A×1個
105号館	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 40A×1個
	熱交換器	熱交換器の安全弁 25A×1個 40A×1個
108号館	貯湯槽	貯湯槽の安全弁 32A×1個

件名	ボイラー洗缶等整備役務
図名	仕様書（5）
陸上自衛隊システム通信・サイバー学校総務部管理課	

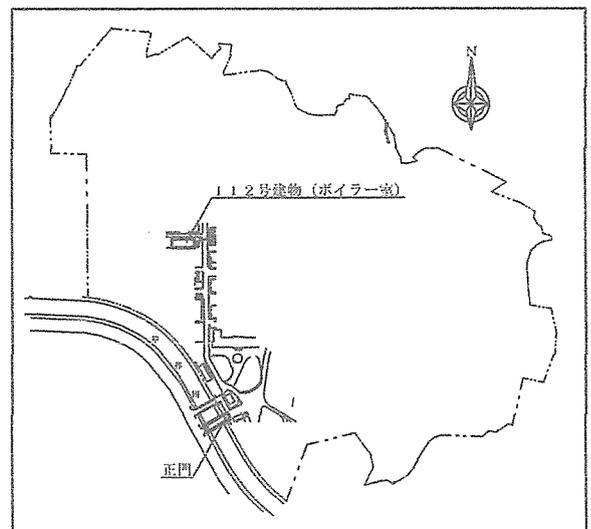
- イ 安全弁吹出し試験の設定圧力は、監督官が示す。
- ウ 整備対象安全弁（1号ボイラーを除く）の取外し及び整備後の取付は、官側で実施する。
- エ 1号ボイラー本体の洗缶整備
- (ア) 水室（給水内管取外し整備含む）及び燃焼室内部整備
  - (イ) 煙室内部及び煙管内部整備
  - (ウ) 自動制御装置の調整
  - (エ) 検査用遮蔽用フランジ取外し整備
  - (オ) バーナー部開放、整備
- オ 1号ボイラー付属機器類整備
- (ア) 安全弁分解整備
  - (イ) 圧力計・水高計取外し整備
  - (ウ) 水面計・連結管分解整備×2個
  - (エ) 吹出弁分解整備 40A×2個
  - (オ) 主蒸気止め弁分解整備 150A×1個
  - (カ) 給油・給水ストレーナー分解整備
  - (キ) 連続ブロー装置分解整備 ×1台
  - (ク) 自動低水遮断器分解整備 ×1台
- カ ボイラー性能検査完了後、当該ボイラー製造メーカーによる1号ボイラー本体燃焼調整及び試運転を実施すること。

(6) その他

- ア 上期及び下期のボイラーの法定性能検査の日程については、次のとおりとする。
- (ア) 上期：令和7年 5月26日（月）
  - (イ) 下期：令和7年10月27日（月）
- イ 上期、下期とも性能検査前日までに各安全弁の吹出し試験を実施し、性能検査当日までに安全弁点検整備・吹出し試験記録表を提出すること。
- ウ 請負者側にて整備した設備の性能検査受検に、立ち会うものとする。
- エ 役務完了検査は、組み立て・試運転調整の後実施する。



案内図 1/X



配置図 1/X

件名	ボイラー洗缶等整備役務
図名	仕様書(6)・案内図・配置図
陸上自衛隊システム通信・サイバー学校総務部管理課	